

## 貧困農村地帯での EC ビジネス展開

吉川 孝子

重慶の街中では新年と春節を目前にして市民は浮き足し立ち、街路樹はイルミネーションで飾られております。街中は、昼間より夜のほうが明るいくらいに照らされています。

一方、1月の某日、行政関係者、金融機関、実業家達からのお誘いを受け、重慶市から30分位の別荘地内にあるホテルに夕食に行きましたが、街中から15分程走行しますと市内とは打って変わって、20年ほど前の中国にタイムスリップしたようです。会食が終わって帰宅する時には、辺りは暗く街灯もない山道を車のライトを頼りに下山しました。

市内と市外、たかが30分~40分圏内の風景がこれ程までにも変化していることは、市外（農村）で生活している人々はどのように感じられているのでしょうか。

## ＜街と農村部の格差＞

街では EC ビジネスを利用することによって国内外の品物が瞬時に手に入り、資金が不足したら Wechat に消費者金融から資金が補充されるバブリーな生活。先月、重慶の求人サイトに「2017年重慶月給分析報告書」が発表されており、管理職以外の平均月給が昨年より8%増加したとの事。院生卒業者は5.48%、大卒は8.93%、高卒は11.67%の増加率で、1~3年の大卒、仕事経験者は6.714元/月~7.923元と発表されておりますが、この数字は“あおり報道”の数字としか思われませんが、月給の高い業種として挙げられているのが整形医、ゲーム開発者、投資銀行業、クレジットカードセールスがトップの業種に挙げられ、街の好調な経済を謳っております。

農村で貧困に苦しむ人達との貧富の格差を、どのように改善して行くのか大きな課題です。春節明けから行政の政策が大きく動き出すのでこの問題の動向に注視が不可決となっておりますが、いち早くこの問題に取り組み始めたのが重慶市です。先月、農村の貧困家庭支援を新たに成立しました。

四川省では、良質な農産物が栽培されているものの、販売先、物流等が原因で現金収入に結びつかないことから、ECを活用し産業を発展させようと、42企業及び団体によって「重慶市貧困家支援 EC 連盟」が立ち上げられました。

貧困の村には、1,425ヶ所のビジネス養成拠点を設け、起業意欲を養い、貧困の村を「ネット村」に発展させることで、貧しい環境から脱却させることに力を注いでいます。

本年の目標は農産物 EC 売り上げ6.1億円の達成です。重慶市はこれに1億元投入し目標達成の支援を展開しています。